

2009年2月2日

## 就活日誌

- 3年次 留学を考えていたので就職活動の類はほぼせず。当時は旅行業界に興味を持っていたので暇な時間に業界研究や資格の勉強などをしていた。
- 12月末 留学先から帰国。東京で少しだらだらし、大晦日に帰宅。就活は一切なし
- 1月 留学の余韻に浸っていたため就活する気が全くおきず。東京に遊びに行った時にたまたま文化学科の友達の女の子（就活姿）に出くわし、焦りを覚えたのをきっかけに1月末ごろになってようやくリクナビに登録する。この頃はまだスーツすらもっていないかった。
- 2月 スーツ購入。地元で開かれた合説を皮切りにがしがし説明会の予定を入れる。特に狙いは定めず、いろいろな業界をふらふら見ていた。
- 3月 エントリーシートの提出や試験などが始まる。平日はほぼ就活、土日はバイトという日々が続いた。ゼミの同期生にエントリーシートについてダメ出し等してもらい、書き方を学んでいく。商社、メーカーを中心にエントリーするようになった。
- 4月 復学。サークル、外バンにも復帰。東京、茨城、宇都宮を行き来する毎日。面接などが増える。昔から憧れを持っていた会社にSPIでいきなり落とされる。しかも同じ高校の後輩がその会社の内定をもらったと耳にし（しかも宇大）、へこむ。二度と同じ過ちは繰り返すまいとSPI対策をするようになる。まわりに内定が出始めるが、思っていたほど気にならなかった。
- 5月 商社A社。メーカーB社、留学エージェント・イベント企画C社から内定をもらう。どの会社にするか決め切れず、悶々。
- 6月 C社に決めかけるが、内定者集会などに参加した結果、最終的に会社が信用できるか疑問を感じる。実家のことも考え、地元で就職した方がいいと思ったこともあり、辞退。A社、B社の間で悩む。
- 7月 A社、B社ともに内定者の集まりがあり、先輩社員などから話を聞く。それでも決め切れず、B社の人事の方々と飲みに行く。  
A社よりもB社での方が自分の経験や素養が生かせ、就職後に自分の可能性や視野が広がると思い、B社に決定。就活終了。

### 就活を振り返って

僕は留学の関係でスタートの時期がかなり遅れてしまいました。やはり始めるのが遅ければ遅れるだけ、選択肢はどんどん減っていきます。早く始めるに越したことはないと思います。といっても中村ゼミの後輩の皆さんにはそんな心配は無用のようですね！

途中にも書きましたが、僕はSPIにはとっっても嫌な思い出があります。初めて本気で

受かりたいと思った会社だったので相当へこみました。なので、個人的にはSPI対策は必ずした方がいいと思います。本一冊買ってやるだけで全然違うと思うので。

会社選びや面接対策についてはほかの人がきっと書いてくれると思うので、僕がこれはやっておいてよかったと思うことを書きます。

一つはエントリーシートを他人に添削してもらうことです。僕が最初に書いたエントリーシートはそれこそとてもお粗末な内容でした。何人かの友達に見てもらい、ダメ出しをもらったことで、自分や会社のことについてより深く考え、充実したものを書くことができました。他人に見せるのはすげー恥ずかしいですが。

次は、(会社によっては不利になることもあると思います。あくまで参考として) 自分の就活の経過を面接官に正直に伝えておくことです。面接もある程度まで進んでくると、今の就活の進み具合を聞かれることがかなり増えてくると思います。駆け引きとして、やはり「御社一筋」と言ってしまうところなのかもしれませんが、その方がいいのかもしれませんが、僕は面接のときに自分の状況をいつも正直に伝えていました。最終面接のときでも、「御社に魅力を感じていますが、他社で内定をもらっているところがあり、仮に御社で内定を頂いたとしても、こういう理由で悩むことになると思います」という具合でした。結果として最後はA社とB社の選択で、A社は辞退することになるのですが、「辞退は残念ですが、あなたの素養ややりたいことを考えると、うちの会社よりB社のほうが正しい選択だったとこちらも思います。B社でも頑張ってください」と言ってもらえ、スムーズに辞退することができました。どちらの会社の人事の方も、僕が状況を伝えておいたので、相談にものってくれましたし、納得のいくまで考えるように猶予を与えてくれました。本当に感謝しています。

個人的な考えですが、今の時代、その気になれば転職だってできますし、最初に入った会社がすべてというわけでもないと思います。就活のやり方は本当に人それぞれだと思うので、まわりに惑わされず、マイペースにやるのが一番だと思います。